

## 谷津山の野鳥

谷津山は市街地の中にある独立した低い山のため、生息する野鳥はそんなに多くありません。ヤマガラやシジュウカラ、キジバト、ヒヨドリ、メジロなど身近な野鳥が一年中見られます。



## 谷津山の竹林

谷津山でも、手入れがされないため増えた竹林があちらこちらに見られます。放置しておくと、生物多様性が低下してしまうだけでなく、土砂災害などへの影響が考えられるため、ボランティアの団体が、竹林の伐採や管理を進めています。



## 谷津山の昆虫

谷津山では、モンシロチョウやアゲハチョウなどのチョウを見つけることができます。日本固有種のヒカゲチョウも数多く生息しています。

冬でも日当たりの良い草むらでは、ツチイナゴの成虫が見つかります。成虫は地味な茶褐色をしていますが、夏になると鮮やかな黄緑色の幼虫が出現します。



# 静岡いいもの散策マップ

## 谷津山コース



## 駿府音羽山清水寺

室町時代、今川氏輝の遺命により重臣の朝比奈元長が建立したお寺です。谷津山周辺を京都の東山に見立てて、清水寺と名付けました。



## イチョウ

古い木になると氣根(きこん)と呼ばれる乳房状の突起が垂れ下がります。秋になると葉が黄色くなります。



GPS情報:  
N 34 58 45.1 E 138 23 46.7

## 谷津山の成り立ち

数万年前、庵原山地から延びる尾根が安倍川から運ばれてくる土砂によって埋まっていき、尾根の高いところだけが孤立した山のように残りました。この部分が、現在の谷津山となっています。



清水寺山門

清水山公園の滝



賤機山から見た  
谷津山の全景

## 谷津山古墳

谷津山古墳は古墳時代前期の前方後円墳で、静岡清水の中で最も古く、最も大きい古墳です。(全長約110m、高さ約10m)

大きな板石で覆われた竪穴式石室に、朱を塗った木棺が納められていきました。また銅鏡、剣、やじり、管玉など、社会的地位の高さを示す副葬品が出土していることや、古墳の規模や形態、静岡清水を見渡す立地条件から、古代の駿河国(のちの静岡県)の前身である、廬原国(いはらごく)の首長の墓といわれています。



GPS情報:  
N 34 58 59.6 E 138 24 07.1

## スダジイ

シイの仲間です。ツブライと違い、樹皮が縦に裂けます。この木はとても古く木で、樹齢300年後と推測されています。



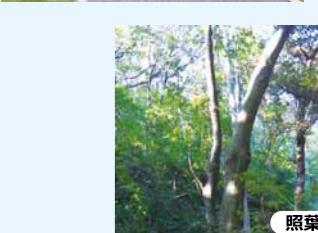
GPS情報:  
N 34 58 59.6 E 138 24 07.1

## ヤマモモ

初夏に2cm程のツブツブした赤い実をつけます。実が桃のよう食べられることからヤマモモという名前がつきました。



GPS情報:  
N 34 59 09.5 E 138 24 26.9



照葉樹林の森